

実践的な支援プログラムで 効果を上げるチャレンジショップ事業

唐人町商店街振興組合(佐賀県佐賀市)

唐人町商店街の位置



唐人町商店街の概要及び事業概要

- 佐賀市は人口約**20万5千人**。隣県の福岡市までJR特急で**30分**、高速バスで**1時間**とアクセスがよいため、多くの顧客が福岡へ流出している。
- こうした佐賀市の立地条件に加え、近年では中心市街地の再開発ビルの閉鎖、郊外型ショッピングセンターの進出などにより、中心市街地は空洞化が進行している。
- そこで、佐賀市では平成**12**年度から空き店舗対策と創業者支援を目的にチャレンジショップ事業を実施。
- さらに、そこで得た反省と経験を踏まえ、平成**16**年度は新たに立地や運営面などを大幅に見直した独自の育成・支援システムにより実施した。
- チャレンジショップの立地場所は、メインストリートにある唐人町商店街に移し、中心街への独立開業を見据えた、より実践的な育成・支援プログラムに切り替えた。
- その結果、卒業生全員が中心市街地に独立開業するという成果を上げている。

唐人町商店街振興組合 副理事長
（チャレンジショップ運営部会 リーダー）
小城原 進 氏へのインタビュー

Q. チャレンジショップ事業に取り組んだ経緯について

- 平成**12**年度から空き店舗対策として実施。
- 当初の**4**年間の事業では、独立開業に強い意欲を持つ方が少なかった。
- また、立地場所はアーケード街で夜型の商店街になりつつあったため、昼間の人通りが少なかった。
- 佐賀市は立地場所を変えて実施したい意向があったため、メインストリートにある当商店街が平成**16**年度に誘致した。

Q. 事業実施のポイントは？

- 街の魅力にプラスになるチャレンジショップを求めた。
- 入店したチャレンジャーには、佐賀市内への独立開業を求めた。

Q. 平成16年度の事業は どのような見直しを行ったのですか？

①家賃設定

以前 → 1店舗 1万5千円

16年度 → 坪1万円（1店舗 4万円）と相場に近い金額に設定

狙いは、独立後にギャップが出ないようにし、チャレンジャー期間中から経営感覚を養うようにするため。

②運営部会の構成メンバー

経営コンサルタント、チャレンジショップ卒業生（独立開業）、元気な商店主など実践的支援ができるメンバー構成に変革。

③修行制度の導入

1週間、繁盛店に体験入学する制度を導入。

繁盛店の従業員として経営を学ぶカリキュラム。

④その他に、チャレンジショップ「CAST」は、集客効果を高めるため、商店街と市が協力して2Fにカフェを誘致する工夫も行っている。

チャレンジショップ運営部会メンバー リフレッシュ整体院 阿野 元治氏へのインタビュー

Q. 運営部会のメンバーになったきっかけは？

- 卒業生として運営に協力してくれないか、と依頼を受け、少しでも役に立てればと思った。

Q. 運営メンバーとして心がけていることは？

- 経営面や様々な問題に対して、自分の経験を踏まえてアドバイスしてあげること。

Q. 事業の見直しが行われて、
良くなったと思うところは？

- 経営に関する勉強会や、修行制度などが役に立っていると思う。
- 佐賀市内に独立開業すれば、月々払っていた家賃（4万円）から、半額の2万円が戻ってくる制度。

チャレンジショップ事業の見直し



は見直し



は新規に設けられた制度

		これまでの運営概要 (平成12年～平成15年度)	新たな運営概要 (平成16年度)
出店者負担		家賃・光熱費15,000円	家賃・光熱費40,000円他、連絡会費
研修制度	①出店前	独立までの事業計画作成	同左
	②出店中	売上報告会（月1回） 座学研修 店舗診断	同左
	③出店後期	—	修行制度
	④独立直前	—	独立モデル店舗視察
独立補助	佐賀市内で出店	独立支援事業費補助金 (対象：改装費の一部)	同左 (対象：改装費、家賃、宣伝費の一部)
		—	独立支度金制度
	②中心市街地外に出店	—	独立支度金制度

唐人町商店街振興組合 副理事長
（チャレンジショップ運営部会 リーダー）
小城原 進 氏へのインタビュー

Q. 平成**16**年度のチャレンジショップへの出店状況

- 応募が**50**数名あり、その中から**4**名を選出して実施。
- **4**名のうち**2**名は卒業後すぐに中心街で出店、他の**2**名も近々開業の予定。

チャレンジショップ卒業生（平成16年生） 装衣工楓 平尾 登美夫さんへのインタビュー

Q. 店舗のご紹介

- カジュアルな着物、自然素材の洋服、和柄の小物

Q. チャレンジショップに入店して良かったところ

- 志しを同じくする店主同士で相談できるところが良かった。

Q. 運営部会からはどのようなサポートを受けましたか？

- ・月に1度報告会を行う際に、財務面から集客方法までいろいろな面でアドバイスをいただいた。

Q. 修行制度を体験されてどうでしたか？

- ・ある薬局で体験させていただいたが、店主の方の店舗運営に対する姿勢や、お客様に満足いただけるように、スタッフの方が商品知識を持つとする姿勢が勉強になった。

Q. 街を盛り上げるために必要なことは何でしょうか？

- ・商店街には楽しいお店が多く集まることが大切だと思う。唐人町には人が集まる、という認識が高まれば、新たな出店につながり好循環になる。

唐人町商店街振興組合 副理事長
（チャレンジショップ運営部会 リーダー）
小城原 進 氏へのインタビュー

Q. 現在（2期生）のチャレンジショップへの出店状況

- 第2期も多数の応募があったが、その中から3名を選出して実施している。

チャレンジショップ出店者（平成17年生）

Shell Moon 刈屋 早希子さんへのインタビュー

Q. 店舗のご紹介

- プリザーブド・フラワー（本物であるが枯れない花）のフラワーアートの販売と教室。

Q. チャレンジショップへ出店した理由

- 自分の店を持ちたいという思いは以前からあったが、資金面や出店場所などの問題ですぐには無理と考えていた。しかし良い機会と考え応募した。

Q. チャレンジショップに入店して良かったところ

- 運営部会によるアドバイスやサポートが心強い。

Q. 今後の目標について

- 当面の目標は、チャレンジショップを卒業して独立開業すること。自分の商売に誇りを持って仕事されている方々と、肩を並べて街を盛り上げて行きたい。

唐人町商店街振興組合 副理事長
（チャレンジショップ運営部会 リーダー）
小城原 進 氏へのインタビュー

Q. 商店街の今後の取り組みについて

- チャレンジショップと共に商店街も活動していく。そして、商店街自身がチャレンジャーとしての気持ちを持って取り組んで行きたい。

関連URL

唐人町商店街振興組合
(<http://www2.saganet.ne.jp/toj/>)